

沖永良部事務所（令和8年6月分）管内情勢

農業関係

1 知名町で家族経営協定調印式を開催

6月26日、知名町役場において、野菜農家の夫婦が家族経営協定を締結した。家族経営協定は、農業経営の方針や目標、役割分担などについて家族で話し合い、その内容を書面で取り決めるものである。

当日は、知名町農業委員会長、知名町農林課長及び沖永良部事務所農業普及課長立会いのもと調印が行われた。

調印後、経営主は「後継者として10年前に就農し、現在はばれいしょを主体に豆類との複合経営を行っている。今後も品質の高い農産物を生産し、収量向上を目指したい。」と述べ、妻は「枝豆やジャンボインゲンの栽培を担当しており、栽培したものが評価されることが励みになっている。今後も技術を学びながら収量向上に努め、家族が健康で仲良く過ごせるよう頑張りたい。」と抱負を語った。

また、知名町農業委員会長から地域農業の担い手としての活躍を期待する激励の言葉が贈られた。

農業普及課では、今後も家族経営協定に基づく経営改善を支援していく。



2 さとうきび祭りが開催される

6月14日、沖永良部島さとうきび祭りが知名町フローラル館で開催された。本祭りは、島内のさとうきび生産量が10万トンを超えたことを祝うとともに、次期作に向けた収量の安定と増産を図ることを目的として開催され、和泊町、知名町両町のさとうきび生産者をはじめ、製糖関係機関などが参加した。

当日は、JAあまみ和泊地区さとうきび部会長による開会のあいさつの後、祝辞や祝舞が披露されたほか、琉球國祭り太鼓、えらぶ百合物語、国頭ヤッコなどの余興が行われた。

最後に、次期作の豊作と増産に向けた「がんばろう三唱」が行われ、参加者は生産意欲を新たにしていた。

